

雪室りんご掘り起こし



山一雪室りんごの会は4月3日、山一農産物集出荷施設で雪室りんごの掘り起こし作業を行いました。同会の会員3人とJA職員が作業を行い、雪の中からりんご300箱（1箱/20* \square ）を掘り起こしました。

雪室りんごは昔から伝わる貯蔵方法で、黒石市のりんごをPRするために毎年行っています。1月下旬に雪の中に埋め、埋めた後も箱が雪の中からは出ないように管理しました。

会員は「雪の中で保存することで鮮度を保つことができる。瑞々しくておいしいりんごを多くの消費者に食べてほしい」と話しました。



雪室りんごを掘り起こした会員



掘り起こし作業

トマトの試験成績報告会



黒石トマト部会（森山誠部会長）は3月2日、令和4年産試験成績報告会を開きました。報告会では、JAの営農指導員や中南地域県民局農業普及振興室の職員が、土壌消毒剤によるかきよう病対策の試験、麗月の栽培試験の結果を説明しました。

報告会終了後には栽培講習会を開き、品種特性や気象状況にあった栽培管理を確認しました。



試験結果を確認した報告会

桃剪定講習会



もも生産協議会（倉内信一会長）は3月2日、平川市の園地で桃の剪定講習会を開き、会員約30人が参加しました。

倉内会長と平賀地区の田中敏夫さんが講師を務め、剪定作業のポイントや注意点について説明しながら実演しました。剪定会終了後にはJA本店に移動し、令和5年産桃の防除暦説明会を開きました。



剪定作業について説明する田中さん（中央）